



令和7年度 事業報告・決算報告

6月9日に理事会、6月23日に評議員会を開催し、令和7年度事業報告および決算について承認を受けました。今回は4つの事業について主な内容を紹介します。

▶ ボランティアセンター活動事業



ボランティア
フェスティバル2025

夏休み
こども点字教室



ボランティア活動への関心がより多くの人に広がり、身近な地域に浸透していくよう、ボランティアセンター事業を推進しました。

令和7年度の登録ボランティア数は、327グループ(7,458名)、個人107名でした。

ボランティア活動に参加するきっかけづくりや、必要な技能を学ぶためのボランティア養成講座(12種類)を開催し、延べ174名が受講しました。

ボランティア活動の啓発を図り、市民に参加を呼び掛けるため「いちのみやボランティアフェスティバル2025」を開催しました。延べ3,200名が来場し、ボランティア活動やパラスポーツを体験しました。

▶ 一宮市成年後見支援センター運営事業

認知症、知的障害、精神障害等により判断能力が十分でない方に対して、成年後見制度の利用をはじめとする適切な権利擁護支援が行われるよう中核機関である「成年後見支援センター」を運営し、広報や相談支援等を行いました。

後見人等受任候補者の調整や支援方法の検討が必要なケースについては、「成年後見制度利用支援検討会」を開催し、弁護士等の専門職も参画しながら、対応を検討しました。



成年後見制度説明会

▶ 重層的支援体制整備事業

フリースペース



「こころね」



「あいみんの家」

地域で暮らす人やその家族が抱えるさまざまな困りごとに対応できるように、「対象者の属性を問わない相談支援」「多様な社会参加に向けた支援」「地域づくりに向けた支援」を一体的に実施しました。

社会とのつながりをつくるために、誰でも気軽に立ち寄れるところの居場所(フリースペース)の立ち上げと運営を支援しました。

▶ 第20回一宮市社会福祉大会

2025年11月11日、第20回一宮市社会福祉大会を市、市共同募金委員会と合同で開催しました。44名が一宮市社会福祉協議会会長表彰、70名が一宮市社会福祉協議会会長感謝を受賞されました。元NHKディレクターで現在はフリーランスのプロデューサーとして活躍する小国士朗さんに「注文をまちがえる料理店のこれまでとこれから」と題してご講演いただきました。



事業報告・決算報告の詳細については、本会ウェブサイトにてご覧いただけます。
<https://www.138sk.org/index.php/houkoku-kessan>